

福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第1回体験イベント 「夏の里山を探検しよう！」

- 1 日時 令和2年7月5日（日）9：00～11：30
- 2 場所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子15名
- 4 講師 萩原 茂男さん（ふるさと研究員）
- 5 内容

（1）ネイチャーゲーム

初めに、ふるさと研究員の萩原さんより、様々な形や色の描かれたカードが参加者に配られ、記された色や形と同じものを山の探検中に見つけてみよう！と説明がありました。参加者は実際に探検する中、たくさん植物や生き物に触れ、カードに記された形を探していました。見つけると「星形だ！」など声を上げ喜んでおり、隅から隅まで目を光らせて観察していました。



ネイチャーゲームの説明と観察

（2）山を探検！

山に登る前に萩原さんから「杣道（そまみち）」について簡単な説明がありました。また、道は雨で濡れており、特に滑るので、尻もちをつくくらい後ろに体重をかけて慎重に歩くという説明を受けて、下りは上りよりも慎重に歩きました。実際に歩いてみて、特に木の表面がつるつるでよく滑りました。

※杣道・・・古くから山で働く人々が利用した道。細くけわしい山道。

■みはらし広場

第一休憩所のみはらし広場では、木と木の間から三方五湖の一つである菅湖が見えました。肉眼で見るだけでもきれいでしたが、双眼鏡を使うと細かいところまで見ることができ、より一層自然を体感することができました。また、木の根元にはカマキリなど様々な動物や植物が発見できました。



双眼鏡を使って湖を一望



生き物観察

■展望広場

頂上に到着すると、木のベンチに座り頂上からの眺めを楽しんだり、様々な植物に目を向け、触れたりしていました。普段、山の頂上に登るといった体験は少ないためか、とても興味を持ち、あらゆるところを観察していました。特に植物観察ではキノコが多くみられ、大きなキノコを見つけました。展望広場からの帰りの道中では、「ヤッホー」「ヤッホー」と、こだまを楽しむ声が出ていました。



たくさんの自然を感じてリフレッシュ

(3) 振り返り

最後にイベントの締めくくりとして振り返りを行いました。萩原さんから参加者に対して、「どんなものを見つけたか?」、「何か良かったことはあったか?」などの質問があると、参加者は「黄色い葉っぱを見つけた!」「鳥の音が聞こえた!」など自分の思ったことを発表しあいました。

参加者それぞれが、ネイチャーゲームなどを通して注意深く自然を観察することができました。コロナウイルスで自粛期間があったものの、今回のイベントで気分がリフレッシュされ、普段は経験することの少ない雄大な自然の中で貴重な体験になりました。



萩原さんから振り返り

〈参加者の声〉

- ・虫に抵抗のある娘が楽しそうだった。
- ・望遠鏡で湖が見ることができて良かった。
- ・様々なキノコを発見できた。